

# 津軽ダムだより

199号  
2016年  
2月29日

## 祝 試験湛水 開始

～28年度の完成目指し、いよいよ大詰め～



(西目屋村関和典村長の音頭で、試験湛水の無事開始を祝って全員で万歳三唱)

2月13日(土)、西目屋村中央公民館において「津軽ダム湛水式」を行ない、関係者約150人が出席し、津軽ダム建設の最終工程となる試験湛水の開始を祝いました。

試験湛水は、本格的にダムの運用を始める前に実際にダム湖に水を貯め、貯水量を最高水位まで上昇させ、その後ゆっくり下降させることでダム堤体や基礎地盤及び貯水池周辺の安全性を検証するために行なう作業で、完成前の大事な節目となるもの。式典では、主



(ゲート閉塞完了)

催者挨拶、来賓の方々の祝辞に続いて工事経過報告が行われた後、関係者が閉塞ゲート降下のボタンを押して試験湛水が始まると、会場内からは大きな拍手が沸き起こりました。

また当日は、工藤まんじさん率いる津軽三味線まんじ会社中の皆さんによる力強い演奏が披露され、式典に華を添えました。

# 津軽ダム 湛水式



【会場前ホールでは、パネル「津軽ダムのあゆみ」を展示】

津軽三味線まんじ会社中の皆さんによる津軽三味線で幕開きした「津軽ダム湛水式」は、国、青森県、西目屋村、用地提供者など関係者約150人が出席。昭和63年度の実施計画調査開始以来、平成12年度の一般補償に関する協定調印、平成20年度の本体工事着手、平成26年度の本体コンクリート打設完了などを経て、いよいよ完成に向けての総仕上げとなる試験湛水を、関係者らが見守るなか無事開始させました。

式典では、はじめに主催者を代表して津島淳国土交通大臣政務官、関和典西目屋村長、青山祐治青森県副知事が挨拶を述べたのに続き、木村太郎衆議院議員、山崎力参議院議員、滝沢求参議院議員、流域市町村を代表して葛西憲之弘前市長からそれぞれ祝辞を頂戴しました。

挨拶

主催者

祝辞

来賓代表



【津島国土交通大臣政務官】 「試験湛水によりダムの安全性をチェックした上、その効果を一日も早く発揮させるため最大限の努力を行ってまいります。」と式辞を述べました。



【関西目屋村長】 「みんなで一生懸命作っているこの津軽ダムを、なんとしても作って良かったと言われるダムにしていくことが我々の課題」と決意を述べました。



【青山青森県副知事】 三村知事のメッセージを代読し、「津軽ダムが一日も早く運用が開始されるよう、関係者の皆さまにはこれまで以上のご支援とご協力を」と呼びかけました。



【木村衆議院議員】 「ダムは利水・治水二つの機能を持つ。このことをしっかり踏まえて、今後、津軽平野に貢献してくれることを皆さんと一緒に確認していきたい」と挨拶されました。



【山崎参議院議員】 「岩木川流域の大きな水害をどの程度防いでくれるのか、またいかにダムの水をうまく利用していくか。住民の方々にとって大きな期待であろう」と激励の言葉を頂きました。



【滝沢参議院議員】 「国直轄のダムとして100番目のダム。地域資源を活かしながら、地域活性化のために、そして何より地域の皆様方に愛されるダムとなりますように」と期待を寄せられました。



【葛西弘前市長】 「いろいろなダムの活用に思いを馳せ、たくさんのお客さんが呼ばれるように頑張っていかなければならない」と、村と連携してインフラツーリズムに取り組む考えを示されました。

## 式典の様子

### 工事経過報告

鈴木勇治津軽ダム工事事務所長が津軽ダムの概要や期待される役割、建設のあゆみ、洪水・濁水時および環境（水質）改善における効果のほか、試験湛水について図などを用いて説明しました。

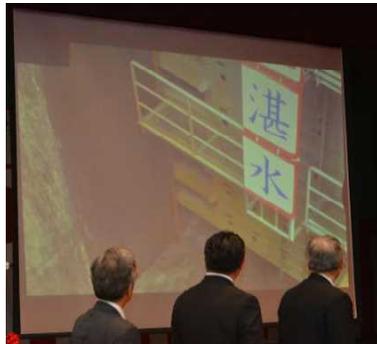
また、この試験湛水がダム建設工事の総仕上げとして最も重要な過程であることから、気を引き締め取り組むとともに平成28年度の完成を目指し、一日も早く完成させる所存であることを述べました。



(写真や図、グラフなどを使って分かりやすく説明しました)

### 湛水の儀

続いて「湛水の儀」では、会場内にスクリーンを設置し、現地の様子を中継。安全確認などを行なった後、関係者により閉塞ゲート降下のスイッチが押されると、ゲート



(作業の様子はスクリーンの映像と音声で中継。現場の緊張感が手に取るように伝わってきました)

がゆっくりと降下し、ダム堤体内の仮排水路を流れていた水がせき止められる様子がスクリーンに映し出されました。ゲートが閉じる瞬間を出席者らが緊張した面持ちで見守るなか、現地から降下完了が報告され、鈴木所長が「了解！」の声を上げると、会場内からは大きな拍手が沸き起こりました。



(写真上:開始の合図で一齐にスイッチON/写真下:完了の瞬間。ほっとした表情を浮かべ拍手する出席者の皆さん)

### 万歳三唱



(期待を胸に全員で万歳三唱)

式典の締めくくりは、西目屋村関村長が「皆さんと一緒にまた、完成をお祝いしますこととお誓い申し上げます。」と挨拶し、全員で万歳三唱して試験湛水の開始を喜び合いました。

この試験湛水を経て、津軽ダムは平成28年度の完成を目指します。

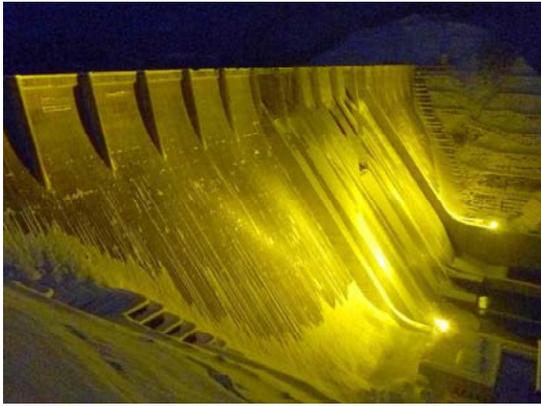


(試験湛水開始時の津軽ダムと目屋ダム)

## ～雪の津軽ダムをライトアップ～

津軽ダムでは、2月6日（土）～21日（日）まで津軽ダムをライトアップしました。

津軽ダムをライトアップするのは、コンクリート打設工事を行っていた平成26年12月以来となり、極寒の津軽ダムの夜景を見られるのは初めてなことから、ライトアップした津軽ダムを一目見ようと多くの方が展望所を訪れました。



展望所から撮影



下流側から撮影

## ～ニシメヤ冬フェスティバル<sup>EX</sup> 2016を開催～

2月6日（土）～21日（日）まで白神ビジターセンターにおいて、「ニシメヤ冬フェスティバル<sup>EX</sup> 2016」（目屋観光協会主催）が開催されました。

西目屋村で毎年冬に行われている乳穂ヶ滝氷祭と連携し、長い期間イベントを開催することによって冬の誘客を図ることを目的として今年、初めて行われました。

会場内には、巨大雪像の展示や巨大雪のすべり台が設置され、夜には雪あかりが点灯されると会場内は、幻想的な世界となっていました。

土・日限定では、かまくらレストラン、郷土料理の販売やスノーモービル体験が行われ、家族で訪れた方々は、遊んで、食べて「冬のニシメヤ」を楽しんでいました。



雪のすべり台



雪あかり



スノーモービル体験



かまくらレストラン



郷土料理の販売

## ～乳穂ヶ滝氷祭～

2月21日（日）、西目屋村名坪平地区の乳穂ヶ滝において、滝の結氷で農作物の豊凶を占う「乳穂ヶ滝氷祭」が開催されました。今年は暖冬で寒さが長続きしなかったため、滝が結氷しませんでした。豊凶占いでは、「暑さ、雨が欲しい時に訪れないため、豊作は期待できない」というご託宣が出ました。続いて行われた火渡りでは、観光客の皆さんが護摩を焚いた燃えかすの上を歩いて家内安全や無病息災を祈願しました。

乳穂ヶ滝は、青森県のパワースポットとしても紹介されていることからライトアップした乳穂ヶ滝には多くの観光客が訪れ、神秘的な光景に感動していました。



滝の前で豊凶占い



観光客の皆さんが祈祷



ライトアップした乳穂ヶ滝

## 雪室りんごの貯蔵作業を行いました

西目屋村のブナの里白神公社は、1月22日（金）、同社が運営する物産センター「Beechにしめや」で雪室りんご「白神雪ん子りんご」などの貯蔵作業を行いました。

りんごのほかにソバ、大豆、白菜などの野菜をおよそ2ヶ月間雪中に貯蔵し、3月下旬～4月上旬に掘り出されます。掘り出されたりんごは、甘みたっぷりのおいしいりんごになります。雪室りんごは人気があるため食べてみたいという方は、お早めに同センター（電話番号 0172-85-2855）へお問い合わせください。



貯蔵作業を行う公社職員ほか



雪室にするため除雪車が活躍

～津軽白神湖に沈みゆく～

## さよなら目屋ダム見学会を開催

2月13日(土)から、試験湛水が開始し、目屋ダムが津軽白神湖に沈むときが近づいてきております。長年、岩木川沿川の暮らしをまもってきた目屋ダムが津軽白神湖に沈む前に見る最後の機会として「さよなら目屋ダム見学会」を開催いたしました。

見学会には310名(午前150名、午後160名)の方々にご参加いただきました。

最初に展望所で概要説明を行った後、ダム天端に移動し、天端から徐々に津軽白神湖に沈みつつある目屋ダムを間近からご覧いただきました。

皆さん思い思いにカメラや携帯電話で撮影をしたりして、地元西目屋村内から来た人は、「もう目屋ダム見れなくなるけど最後に見れてよかったあ～」、「子供の頃、遊んだ光景を思い出して懐かしいなあ」と当時を振り返っている参加者もいらっしゃいました。

今回の見学会で目屋ダムが沈む前の様子をたくさんの方に見ただけでとても嬉しく思います。

県内からたくさんの方に「さよなら目屋ダム見学会」にご参加いただきありがとうございました。

津軽ダム工事事務所では、ホームページにおいて、津軽白神湖の水位や写真などの試験湛水状況を紹介しておりますので是非、皆様もご覧ください。



☆展望所でみんなで記念写真☆



▲沈み行く目屋ダム



▲みんなで目屋ダムを眺めます

### ★ 編集後記 ★

今年は暖冬が続いたので残念ながら乳穂ヶ滝が凍らず、下までつながったところを見ることが出来ませんでした。とても残念ですが、ライトアップされた乳穂ヶ滝はとても神秘的な光景で見ることができました。目屋ダムがいよいよ沈む日が近づいていることから、ダム湖ビューパークには、津軽白神湖に沈む前の目屋ダムを一目見ようとたくさんの方が集まっています。水が貯まっていく津軽白神湖を一望出来ますので是非、訪れて見てください。(佐々木)

### 編集・発行

国土交通省 東北地方整備局  
津軽ダム工事事務所

〒036-1411

青森県中津軽郡西目屋村田代字神田57

TEL 0172-85-3005

FAX 0172-85-3008

津軽ダム工事事務所

ホームページアドレス

<http://www.thr.mlit.go.jp/tugaru>

